

令和2年度第2回区政モニタ一会議議事録

令和2年9月12日（土）午前10時から正午
北区役所別館 研修室

第2回区政モニター会議議事録

- 1 日時 令和2年9月12日(土) 午前10時から
- 2 場所 北区役所別館2階研修室
- 3 テーマ 北区のシティプロモーションについて
～北区ファンを増やす仕掛けとは～
- 4 出席者 シティプロモーション推進担当課長、
シティプロモーション推進担当主査、広報課長、広報主査、広報課職員、
区政モニター 26名

1. 開 会

◎広報課長

それでは、定刻になりましたので、区政モニター会議を始めさせていただきます。
改めまして、皆さんおはようございます。お足元が悪い中、本日も区政モニター会議にご参加いただきまして、ありがとうございます。

本日、司会を務めさせていただきます北区政策経営部広報課長でございます。よろしくお願ひいたします。

今回は「北区のシティプロモーションについて～北区ファンを増やす仕掛けとは～」というテーマで皆様にご意見をいただく予定でございます。

それでは、本日の出席者を紹介させていただきます。シティプロモーション推進担当課長でございます。

◎シティプロモーション推進担当課長

おはようございます。今日はどうぞよろしくお願ひいたします。

◎広報課長

シティプロモーション推進担当主査でございます。

◎シティプロモーション推進担当主査

おはようございます。短い時間ですが、よろしくお願ひいたします。

◎広報課長

後方におりますのが広報課事務局でございます。よろしくお願ひいたします。

続きまして、お手元の資料等の確認をさせていただきます。まず会議次第、そして「北区のシティプロモーション」、こちらはパワーポイントの資料でございます。また、各班に模造紙を1枚ご用意しております。さらに、お一人につき1枚のA4コピー用紙。サインペンをお一人様1本ということでご用意しております。最後に、机に付箋を4色ご用意しております。以上でございますが、不足がございましたら挙手をお願いいたします。

よろしいでしょうか。

次に、本日の進行方法について説明をさせていただきます。まず、シティプロモーション推進担当主査より15分程度「北区のシティプロモーションについて～北区ファンを増やす仕掛けとは～」について、ご説明をさせていただきます。説明終了後は

各グループに分かれてグループワークを行っていただきます。グループワークの中で質問等がありましたら、その都度職員までお声掛けいただければと思います。グループワーク後はグループワークの中で出た意見を各グループ3分程度で発表していただきたいと思います。発表は、「自分のグループではこのような意見が出ました」という内容で結構でございます。発表者の方は、グループ内で出た意見を3分間にまとめて発表していただきたいと思います。なお、事前に各グループの進行役、発表者を決めさせていただいております。役割を指名されたがどうしてもできないという方がいらっしゃいましたら、グループ内で調整をお願いいたします。

本日のモニター会議終了後に議事録を作成いたします。議事録は「北区ホームページ」などで公開いたします。議事録に掲載させていただく部分は、「開会」、「説明」、「発表」の部分でございます。各グループでの話し合いの内容は掲載いたしません。会議中の発言者名につきましても、匿名とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

また、記録用と北区ホームページ掲載用として、会議中の様子を写真撮影させていただきます。ホームページ掲載時は皆様のお顔がはっきり映らないよう配慮させていただきますので、ご了承のほどよろしくお願いいたします。

進行方法についてのご案内は以上でございます。進行方法について、よろしいでしょうか。ありがとうございます。

2 . 説 明

◎広報課長

それでは、次第の2の説明に移ります。シティプロモーション推進担当主査、よろしくお願いいたします。

◎シティプロモーション推進担当主査

改めまして、おはようございます。政策経営部シティプロモーション推進担当主査でございます。本日は貴重な時間を割いてお越しいただきまして、誠にありがとうございます。また、日頃より北区の行政についてご意見を賜りまして、誠にありがとうございます。

本日は北区のシティプロモーションということで、私からお話させていただいて、皆さんにご意見をいただきたいと思います。着座にて説明させていただきます。失礼いたします。

(スライド1・スライド2参照)

まず皆様に問いかけたいことがございます。北区のこと、好きでしょうか。

ここが究極的なシティプロモーションの答えにもなってくる、帰結するところでもあります。とっさに「うん」とうなずいていただいた方、ありがとうございます。

個人的な話になるんですけれども、2006年に北区に入庁いたしまして、2009年から結婚を機に北区の赤羽北に住んでおります。職員でありながら、住むだけだと、北区に対する愛着が湧くことはなかったんですけれども、子どもが生まれて町会のお祭りに参加したりとか、児童館に行ったりとか、ご近所の方やコミュニティと関

わるようになってから、北区のことをとても好きになってきました。やはり、「北区が好き」ということが、「好き」と言えることが、シティプロモーションの要なのかなと思っております。

(スライド3参照)

では、行政としてシティプロモーションとは何をやるのか、ここについてお話させていただきたいと思います。

それですまず沿革ということで簡単にお話させていただきます。北区では、平成28年3月にシティプロモーションに力を入れていこうということで、「シティプロモーション方針」というものを策定しております。そして、さらに今後もっと力を入れていこうということもありまして、今年の4月から「シティプロモーション推進担当課」という課が広報課から独立して作られることになりました。

(スライド4参照)

新しい課を作って何をやっていくのかということについてです。まず、北区の最重要課題というものを確認させていただきたいと思います。北区の課題等を整理して、どういった施策をやっていくかという「北区基本計画」というものがございます。その中で、北区の最重要課題として「地域のきずなづくり」、「子育てファミリー層・若年層の定住化」の二つを掲げております。これに対して、行政として何をやっていくべきかという答えになるかどうか分からないのですが、通常「子育て施設・施策」を充実させるとか、「都市インフラ」の道をきれいにしようとか、公園を整備しようとか、そういったものをやっていく。また、「地域の担い手づくり」として町会の皆様を支援するとか、そういった施策が思い浮かぶかと思います。それに加えて、現在言われている人口減少社会や、今年の新型コロナウイルス感染症の問題、これから予想される景気の後退というものを前提に、「地域のきずなづくり」、「子育てファミリー層・若年層の定住化」を進めていかなければなりません。今掲げた課題に対する施策ですが、これって北区だけの問題じゃないですよ。行政だったら当然やっていくべきもので、ここら辺に力を入れるのは当たり前だろうというのが普通の回答だと思います。

(スライド5・スライド6参照)

では、改めて、シティプロモーションとは何をやっていくのかというところで、先ほど掲げた「シティプロモーション方針」というものがあるんですが、これを読み上げると、本当にお役所的な上から目線の文章で、読んでいくのが大変恐縮なので、これは飛ばさせていただきます。要は、北区の「ファン」を増やしていくことが重要なのではないかと考えております。

(スライド7参照)

つまり、北区は「イイネ!」と皆さんに言ってもらえること、これがシティプロモーションのやっていくべきことだと考えております。

北区の「イイネ!」というのは、もちろん行政としてやっていくべきことをほめていただくことは大変うれしいんですけども、これは本質的なところであって、当然やってしかるべき、行政がやっていくべきところがございます。それに対してシティプロモーションは、北区に対する北区ならではのイメージや印象をさらに発信してい

くこと、そして魅力を掘り起こしていくこと、これがシティプロモーションなのではないかなと私は思っております。つまり、当然やっていくべきことと、それに対して付随するイメージ・印象というものが車の両輪のように進んでいかないといけないと思っております、北区のシティプロモーションについて進めているわけでございます。

(スライド8参照)

では、今まで何をやってきたのかというところを簡単に説明させていただきます。もしかしたらご存じの方もいらっしゃるかと思いますが、去年、「デザインマンホール」ということで、マンホールに絵を描くという、ただそれだけのことをやりました。これも、行政にしかできないようなことではあるかと思うのですが、公共インフラにちょっと遊び心をつけたというところでやったんですけれども、結構、反響が大きくて、特に、右側は、清野とおるさんという「東京都北区赤羽」という漫画を描いた漫画家さんに絵を描いてもらったデザインマンホールですが、こちらはグッズ化されたり、「SNS」、「Twitter」、「Instagram」にアップされて、皆さんから反響をいただいております。ちょっとここがミソなんですけど、「踏むと幸せになれる赤羽のハッピーラッキーマンホール」と言っております。「ただ見るだけではなくて、踏むといいことがあるかも」というようなところがミソでして、実際に来てもらうということで誘客する、心を揺さぶらせるというような狙いもございます。皆さんに実際に足を運んでいただいて写真を撮っていただく、赤羽に来ていただいたついでに飲食や散策をしてもらうという狙いもあります。現在は、新型コロナウイルス感染症の関係であまり人が動くということが難しい状況にありますが、そうしたかたちで皆さんから好評をいただいたというのが、今回のマンホール事業なのかなと思っております。

やっていく上で、いろいろな規制だったり、反対というわけではないですが、やや批判的な意見もいただいたりしましたが、そういったことを少しずつやっていくことで、北区の魅力の一つになっていくのではないかなと思っております。

(スライド9参照)

それから、ご存じ北区に住まわれた渋沢栄一さんが、来年の大河ドラマになるということが決まりまして、さらに2024年には新一万円札の肖像にもなります。これを活かさない手はないだろうということで、「東京北区渋沢栄一プロジェクト」というものを始動させました。具体的に、去年やったこととしては、生誕の地、埼玉県深谷市さんとタッグを組んで展示会をやったり、東京商工会議所・渋沢記念財団・深谷市などととも協定を結んで一緒にやっていきたいと思いますというプロモーションをやっていました。今年度に関しましては、大河ドラマが来年放送されるということで、「大河ドラマ館」を飛鳥山公園内に作ろうということで準備をしております、動いているところがございます。それから、11月11日が渋沢栄一の命日ということもありまして、それに向けた記念切手を発行したり、そういったプロモーションも考えています。

渋沢栄一に関しては、お札まで盛り上げられるコンテンツでございますので、今、地域の皆様のご協力をいただいて、お土産づくりをしたりとか、それに関するイベント

を進めているところでございます。それから、もしできたら、大河ドラマの主人公の吉沢亮さんと呼んでイベントを開催したりとか、そういったことも考えております。

そこで、そういった形で北区に潜在的にある魅力というものを掘り起こして、それを対外的に示して「北区っていいよね」、「住んでみたいよね」とように思わせるのがシティプロモーションで、さらに住んでみて「やっぱり施策もよかったね」と言われるような北区を目指しているところです。

では、今日皆様にやっていただきたいグループワークについて、説明させていただきます。

3 . 言 寸 言 義

(スライド10参照)

ずばり、「北区の魅力を教えてください!!」という課題になります。私ども職員として携わっていて、北区に関わっていながらも意外と見えていないというのが、恥ずかしいところです。皆さんに、隠れた魅力について、特に知る人ぞ知るみたいな魅力について教えていただければ、ご意見をいただければというところで課題を設定させていただきました。

(スライド11参照)

では、具体的に何をやっていくというところですが、まず、北区の魅力についてそれぞれお考えいただけます。魅力といって散漫に出すよりも、取りあえず、カテゴリーを「ヒト」「モノ」「トコロ」「コト」の項目に分けて、各項目で一つ以上出してくださいまして、1枚の付箋に一つの魅力をマジックで記入していただく形で作業を進めていただきます。

「ヒト」については、例えば、表にあるように渋沢栄一とか、〇〇屋さんの店主が面白いとか、そういった形で出していただければと思います。我々が知らないような魅力を教えていただきたいという趣旨でございますので、非常にマニアックなものでもいいと思います。「ヒト」については、ピンクの付箋で書いていただきます。

それから、「モノ」については、「北区といえば桜でしょう」、「電車でしょう」、「新幹線とか見えるでしょう」、「カフェ〇〇のショートケーキがおいしいよ」というようなものを書いていただければと思います。「モノ」については、黄色の付箋でご記入ください。

それから、「トコロ」については、場所ですね、「岩淵水門がいいよね」、「田端の〇〇の坂道って夕陽がきれいなんだよ」とか、そういったところを教えてくださいまして、ありがとうございます。「トコロ」については、緑色の付箋でご記入いただくようお願いいたします。

それから、「コト」については、「馬鹿祭り面白いよね」、「〇〇町会の餅つきは特徴的だよ」など、そういったものを書いていただければと思います。「コト」については、青い色の付箋でご記入ください。

例えば、「北区産業遺産」や「抽象的なことについても魅力だよ」というのは、どのカテゴリーに入れたらいいのか分からないところもあるんですけども、それは、

「トコロ」とか、「コト」とか、どこかしらに当て込んでいただければと思います。なかなかこの四つの分類で全ての魅力を分けるとするのは難しいと思いますが、これかなというところで、厳密にはなくて結構ですので、埋めていただくようお願いいたします。

(スライド12ページ参照)

それから、まずグループ内でその魅力について共有してください。「ここは面白いんだよ」というようなことを話していただくと、「ああ、そうそう、それ知っている」というようなことで、お互いに話していただくと意外と魅力って広がっていくものなので、そういったものを共有していただいて、模造紙を4分類にして、「ヒト」「モノ」「トコロ」「コト」に分けて貼って行ってください。話していく間に、「それがあるならこっちも出そうよ」というのがあれば、どんどん追加していただければと思います。

それから、3番目として発表していただきますが、各グループで話題に上がった北区の魅力についてご紹介いただければと思います。こちらとしても、魅力という面白い、ポジティブなお話になるので、「それ面白いよね、いいよね」ということがあれば、発表と言いながらも、双方向で議論できればなというふうに思っております。北区の魅力をどんどん出していただきまして、それをプロモーションしていくというのが我々の仕事ですので、皆様から教えていただいた魅力をどんどん発信していくとか、何か名物にしていきたいと思っています。

発表でグループワークは終了になりますが、本当は魅力などを組み合わせて、「これをつなげていくと子どもにうけるよね」、「若い女性にいいよね」、「SNSとかで映えるよね」みたいなことを議論していただき、もっと深掘りしていくともっと面白いんですけども、今日は、お時間の都合で魅力を挙げていただくというところだけにとどめさせていただきます。このような形で進めていきますので、ご協力いただければと思います。

最後に、先ほどご説明したとおり、質問等がありましたら、グループ中に私のほうに出していただければと思います。魅力については、「これはみんな知っているよね」というものよりは、先ほど申し上げたとおり「知る人ぞ知る」、「私だから知っている」、「私のこの趣味だから、これを魅力に感じる」というものを挙げていただければというふうに思います。ただ、そうするとハードルが高いので、北区と言えどいうものでも全然差し支えございませんので、そういった形でやっていただければと思います。

グループワークについて、何かご質問等はよろしいでしょうか。では、皆様のほうで取りかかっていたいただければと思いますので、どうぞご協力よろしくようお願いいたします。

◎広報課長

ありがとうございました。

グループ討議なのですが、目安として11時10分頃を目安ということでグループ討議をしていただいて、その後、各班先ほど申し上げたように3分程度でご発表していただきたいと思いますので、よろしくようお願いいたします。

4 . 発 表

◎シティプロモーション推進担当主査

よろしいですか。いつも1班から発表していただいているので、今日は、逆の7班から繰り下がるような形で発表していただきたいと思います。1グループ3分程度で、これは面白いなというものを説明、補足していただければと思います。「こういうのが拳がったよ」とか、「これ、意外と面白いから、区役所ちゃんとやれ」とか、ご意見・ご要望も併せて発表していただければと思いますので、お願いいたします。

それでは、7班からお願いいたします。

◎区政モニター（7班）

7班です。よろしくお願いいたします。7班のチーム名は、「殿と3人の姫たち」というチーム名をつけさせていただきました。

いろいろと付箋が貼られております。まず、「ヒト」から行かせていただきますと、やはり長い歴史をたどれば、飛鳥山を作った「徳川吉宗」。桜を植えてくださいますと、非常にいい公園になっております。そして、「花川区長さん」も、大変長い間頑張っていたでいて、いいかなと思っております。私も、地元の自治会の新年会に来ていただいて、よくお話をさせていただいております。それから、作家の「内田康夫さん」とか、漫画家の「清野とおるさん」。この間、なんと壇蜜さんと結婚して、悔しいですが。そんな方々がいらっしゃる場所でもありますので、こういう有名な方に、もっともっと北区を盛り上げていただければいいんじゃないかなと思います。

次、「モノ」に移ります。「モノ」については、王子駅そばの「扇屋さんの卵焼き」。ここはまだご健在だということですね。それから、「亀の子たわし」、「小山酒造」など、昔からあるお店がまだまだ残っております。それから、「平塚亭」。伊東四朗主演の刑事ドラマの「おかしな刑事」では、東王子警察署が舞台ですが、必ず「平塚亭」のだんごを娘さんと一緒に食べるというシーンが出てきますね。それから、明治通り沿いの「サトリ珈琲店」。コーヒーが非常においしいとのこと。それと、「明治堂」。フランスパンとアップルパイがおいしいそうです。

まだあるんですけど、時間があるので、次の「トコロ」に行きます。ここは非常に多いんですけども、最近よくテレビに出てきます「十条銀座商店街」。行ったことはないんですけど、非常に長い商店街があるとのこと。それから、やはり「飛鳥山公園」ですね。こちらのアジサイは、すごくきれいですね。それから、「旧古河庭園のバラ園」ですね。それから、電車が見える「北とぴあの展望室」。それと、赤羽では、やはり一番は「赤羽一番街商店街」の飲み屋さん。よくニュースでも見えますけど、朝からやっている商店街など、それなりに有名なところがあるということですね。

次は、「コト」ですね。「コト」でいうと、お祭り関係がよく出てきていました。滝野川の「八幡神社」。それから、「王子神社」、「紀州神社」。こういうところが出てきておりました。あと、「王子狐の行列」というのが出ております。このくらいが出てきていますと、非常にディープなまち北区という感じなんですけれども、それ

でも緑が多いし、川もあるし、なかなか魅力的なまちじゃないかなと思っており
ますので、ぜひ区役所の方に頑張ってください、もっともっと盛り上げていただ
ければと思います。以上です。

◎シティプロモーション推進担当主査

ありがとうございました。続いて、6班の発表をお願いいたします。

◎区政モニター（6班）

すみません、大体被るかもしれないんですけども、まず「ヒト」からいきますと、
赤羽は、「林家ペー・パー子」、「清野とおるさん」。田端方面に行くと、急に文豪
とか、そういう「渋沢栄一さん」とか、アカデミックになるので、ちょっと紹介しよ
うかなと思いました。

「モノ」としましては、結構おいしいものがたくさんあります。中里の「揚最中」
は有名です。あと、十条の「靴」。あと、「平塚亭のおだんご・おいなりさん」。あ
と、滝野川の「トキハソース」は、なかなか手に入らないですがおいしいです。あ
とは、昔からの「石鍋商店のくず餅」、「都電もなか」、「甘納豆」が結構有名です。

あと、「トコロ」としましては、「清水坂公園」は、最近すごくいいところです。
山の上から下まで流れがずっと続いていまして、子どもたちが水遊びもできるし、こ
の夏は、広い原っぱに家族ごとにいっぱいテントを張っていました。無料で入れます。
あと、「田端文士村記念館」。こちらもいいですね。あと、田端・駒込・本駒込の3
か所の分岐点があって、これが結構人気があって観光スポット化している。あと、「東
覚寺」とか、「お富士さん」とかですね。あと、公園もいっぱいあります。その公園
の関係から、お花見の名所もたくさんありますね。

あと、「コト」では、お祭りですね。「熊野神社の白酒祭り」とか、「王子の狐」と
か、「七社神社」とかですね。それから、これはちょっとアカデミックで、西が丘に
「オリンピック施設」がいっぱいありまして、結構選手がいろいろと歩いています。
あと、「北とぴあ国際音楽祭」というものがあるんですが、その中で、北区の合唱団
は非常に数も多く、レベルも高くて、ほかの地区と比べると上手なんです。なぜか
というと、芸大の先生たちが指導に入っていて、一度聞きに行かれるといいかな
と思います。あと、「北区花火会」。今年は中止なんですけど、岩淵水門あたりで花火
があがります。東京で一番最後の花火大会ということで、盛り上がります。あと、「篠
原演芸場」。庶民がゆったりできる所ということです。結構バラエティのあるもの
が挙がりました。

以上です。

◎シティプロモーション推進担当主査

ありがとうございました。南北で文化が違うというところの分析もすばらしいな
と思いました。

続いて、5班の方、発表をお願いいたします。

◎区政モニター（5班）

5班です。まず「ヒト」からいきますと、5班もやはり「花川区長さん」が登場
しました。いっそのこと100歳くらいまでやっていただいて、ギネスブックに挑戦
するくらいの区長さんになれば、北区の知名度も上がると思いますので、健康長
寿で頑

張っていただきたいと半分は思っています。それから、さっきも出た「林家のお二人」ですね。それから、皆さんも知っている歌手の「水森かおりさん」もゆかりの方です。それから、これは今いる人じゃないんですけれども、せっかく「洪沢栄一」が活躍した北区ですので、北区が全国に呼びかけて「令和の洪沢栄一」を大募集するという壮大なイベントを考えてはどうかという話が出ました。それと、こう見えて北区は人がいないわけですから、人がいなければ狐の力を借りようということ、落語好きの人だったら全国誰でも知っている「王子の狐」の場所ですから、大みそかの「狐の行列」は一回行けばいいなというイメージがありますが、もうちょっと狐を使い倒すくらいの活用方法を真面目に考えるということもいいかなと思います。

あと、「モノ」です。ご存じのように田端駅前の田端ASUKAタワービルの隣の「田端文士村記念館」。いろいろと勉強できる場所があつていいかなと思います。あと、当然「都電」ですね。私は、「さくらトラム」というのはあまり好きではないんですけれども、都電もいいと思います。あと、飛鳥山の「アスカルゴ」ですね。実は、私は、子ども連れで、恐らく北区以外から来た家族だと思ふんですけれども、「アスカルゴはどこですか」と聞かれたことが2回あります。だから、きっと意外と隠れた人気は北区以外の子どもたちにあるのかなというふうに思います。

あと、これもないんですけれども、江戸時代には「種苗会社」がいっぱいあつたところで、いわゆる江戸時代の伝統野菜の産地なんですね。例えば、小学校、中学校の子どもたちに郷土を学ぶということでそれを復活してもらおうような、北区は江戸庶民の食を支えていた場所なんだということ、少し考えてもらえればいいかなということです。

あと、「トコロ」はいっぱいありまして、全部は紹介しきれないんですけれども、「赤羽八幡神社」。私は行ったことがないんですけれども、関ジャニ∞の聖地だという説があります。というのも、数字の8を横にしたマークがこの神社にあつて、それが関ジャニ∞のファンにとっては聖地になっているのではないかなということです。それと、あと、田端にも「八幡神社」がありまして、そこのお祭りが非常に有名で人気があるということです。それと、田端には「赤紙仁王像」がありまして、自分の体の悪い部分を、赤い仁王像に貼ります。これも有名ですよ、あれもいい。あと、古いところでは「中里貝塚」。それから、赤羽の西口の「亀が池」。私は行ったことはないんですけど、あそこにも伝説があるらしいので行ってみたいと思います。あと、オリンピック関連で、西が丘の「ナショナルトレーニングセンター」。私は思うんですけど、貝塚から始まって今のところまで行くと、「北区タイムトラベル3000年」というようなイメージで、貝塚も行き、あちこちにも行き、ついでに言いますと北区は軍用地でもありましたから、北区に行くと日本の4000年の歴史が分かります。

あと、最後の「コト」はあまりないんですけれども、地域ぐるみで餅つきなどのイベントがあつて、これらのイベントは、北区以外の方も知っている人は知っているので人気があるところです。それから、「水辺ウォーク」や「桜ウォーク」ですね。参加者も多いので、これはいいかなと思います。あと、「七社神社」。滝野川警察署の裏にありますけれども、洪沢栄一がかつて氏子だったという神社で、非常に小さくて

あまり目立たないのですけれども、お正月に行くと神社が羽子板とかこまを用意して遊べるという、普通の神社とは違う非常にアットホームで暖かさのある神社だと思います。それから、これは有名ですが「王子田楽」。王子神社で、小学生たちが8月にやっています。私は一回しか行ってないですが、なかなかいいです。ものは小さいですが、雰囲気は良かったです。

以上です。

◎シティプロモーション推進担当主査

ありがとうございました。ご指摘いただいた「狐の行列」は、外国人に人気で、日本の幻想的な雰囲気というのがとてもインスタ映えするというので、とても人気があります。今年はコロナの影響で中止になってしまったのですが、そういったところで有名になっております。それから、「アスカルゴ」は、できた当時はなんだこれかと思ったんですけれども、今年の4月から、サザエさんのオープニングテーマでサザエさんが気球に乗って回るオープニング映像の東京の場面に、「アスカルゴ」が載っていたんですよ。並みいる東京の名所の中に「アスカルゴ」が入っているのはすごいなとびっくりしました。どうもありがとうございました。

続きまして、4班、お願いいたします。

◎区政モニター（4班）

4班です。よろしく申し上げます。

まず「ヒト」ですが、北区というと何となく人情のあるまちだなというのを感じました。そして、「太田道灌」。そして、「タレントさん」も結構いらっしゃるそうです。その方たちを使って、何かイベントをやったり、若い人が集まるようにしたらどうかという話が出ました。それから、課題としては、お母さん方に受けたり、女性の方がどんどん進出するような取り組みを進めてほしいです。また、これからも若い人たちに大いに頑張ってもらいたいと思います。珍しいので紹介しますが、「川島芳子さん」という方で、男装の麗人と言われた方が赤羽西口にいらっしゃったそうです。ちょっとこの方はもういないんですよ。ぜひ覚えておいてください。

次に、「モノ」にまいります。まず、「さくらトラム」。先ほど「さくらトラムって何？」と聞かれたんですけど、チンチン電車ですよ。珍しいので、このチンチン電車は北区にとってとても自慢だと思います。ぜひ、このまま続けてほしいです。それから、課題としては、他区の方にも誇れる飲食店さんを大いに発信させて、皆さんに来ていただいて、食べ歩きなどのイベントも行ってほしいとのことです。

次は、「トコロ」です。これは先ほども出ましたが、ご紹介しますと、十条に「篠原演芸場」というのがありまして、他区からもお客さんが見えになります。高齢福祉課でも、お年寄りに見ていただきたいというイベントをやっていますので、もし行ったことのない方は、ぜひ一度経験してみてください。それから、「清水坂公園」ができた、「東洋大学」が北区に来たことで人口が増える。何かできると人口が増えるということで、とてもいいことだと思います。それから、「水上バス」。これが小豆沢のほうから出ています。そして、「荒川の散歩道」。それから、「味の素ナショナルトレーニングセンター」がございます。本当でしたら、今頃は大変にぎやかだったと思っているんですが、オリンピックは残念でしたね。ここは、「桜ウォーク」で

回ることもありました。それから、大体同じようなものが出ましたが、「稲付の餅搗唄」。これは伝統があり、大変珍しいものだそうです。ぜひ、そのイベントの時にはいらっしやってください。それから、「道灌祭り」。それから、「飛鳥山の野外ステージの活用」。空いているのは、もったいないと思うんです。もっといろんなイベントをやれば人が来る、お金が落ちる、経済は回るということで、なるべく空かないようにお願いします。それから、「北区ニュース」。1か月に3回来ますよね。この「北区ニュース」には、防災セミナー、認知症、介護、運動、健康、それからパソコン教室、子育てなどの話題がいっぱい載っています。その中で、マンション、町会との結びつきができますので、これもとても大切なことだと思います。「北区ニュース」を、皆さんにご覧になっていただくように、ぜひともお願いしたいと思います。あと、「北区ニュース」って、場面がもうほとんど決まっているんですよね。「またこれか」みたいにならないように、時にはちょっと工夫をお願いしたいと思います。

4班は以上です。よろしくお願ひいたします。

◎シティプロモーション推進担当主査

どうもありがとうございます。「北区ニュース」を挙げていただいて、本当にびっくりしました。担当部署として、すごく励みになる言葉でした。また、「チンチン電車」を挙げていただきましたけれども、ちょっと補足説明させていただくと、「チンチン電車」もできた経緯は渋沢栄一さんに関わっているんです。当時の東京市長に、路面電車を通せという陳情をして出来上がったという逸話がありますので、ここにも渋沢栄一さんが出てくるというところですね。どうもありがとうございました。

続きまして、3班、発表のほどお願ひいたします。

◎区政モニター（3班）

それでは、3班です。3班はチームリーダーの厳しい指導の下で厳密に選び上げました。3班が選んだ「ヒト」「モノ」「コト」「トコロ」は、皆さんがお選びになったところとダブっている点が多いのかなと思いますが、やらせていただきます。

まず、「ヒト」ですが、文化人の「芥川龍之介」、「ドナルド・キーンさん」。あとは、タレントの「古舘伊知郎さん」といったような方に比してというか、それを超えたところでやはり「花川区長」の名前が上がりました。「長生きするなら北区が一番」を自ら手本として示していらっしやる方ということで、この「ヒト」の部分で区長さんがふさわしいんじゃないかというのが、一応この部分の我々の意見です。

あと、「モノ」です。「モノ」もいろいろありまして、「桜」ですとか「飛鳥山」。飛鳥山の桜のイメージ、北区のロゴマークのKの字が桜になっていて、桜ということで区域外の方に訴求をする強いインパクトを持ったものが桜だと思います。あと、田端周辺で「電車・新幹線」。電車オタクを取り込む、それがポイントではないかなと。電車と食べるものを組み合わせたら、田端がもっと発展して、北区に来られる方が増えるのではないかなということを私は考えました。ということで、桜というものを北区の一つのシンボルにしましょうということになりました。あと、個人的に好きなんですが、赤羽一番街の「伊勢屋さんのみたらしだんご」。1本120円ですけど、午後1時半以降じゃないと買えません。もし、今の私の言葉を聞いて食べたいなと思われた方は、水曜日が定休日なので、それ以外の1時半以降に行ってみてください。

おいしいです。

次、「コト」です。ここもやはり、「神社さん」と「祭り」。北区内には、いろいろな神社さんがあります。先ほどの発表にもありましたが、初めてお聞きするようなお名前の神社さんもありましたので、北区として、いろいろな神社さんと、そこで行われているお祭り、先ほど狐の云々というお話がありましたけど、そういうものを連ねて、北区のパワースポットという形で区外の方に訴求して、北区へのインバウンドを語る要因にさせていただけたらどうかなと思いました。その点が「コト」の集約した点ですね。

次に、「トコロ」ですね。やはり、北区と言えば「飛鳥山」。徳川吉宗がおつくりになって、一番華やいだ感じを江戸のまちに披瀝されたように、今、飛鳥山をもう一度見直して、「東京に北区があるぞ、飛鳥山にみんな来れば北区の全貌を高台が見えるぞ。」という形で、アスカルゴと組んだ飛鳥山をもう一回見ていただけないかというところで、飛鳥山を見直してみました。

以上の点が、第3班の結論ということになります。よろしいですか。以上です。

◎シティプロモーション推進担当主査

どうもありがとうございました。ご指摘いただいた飛鳥山は、まさに渋沢栄一が暮らした所ということで、今後、北区も売りに出していきたいというところがございます。それから、田端の鉄道というところもご指摘いただきました。もしかしたらご存じか分からないですけど、昨年ヒットしたアニメーション映画の舞台が田端駅南口前で、結構重要なシーンで使われております。私共も、聖地化したいなと思い動きまわりましたが、映画と組むということがなかなか難しかったところもありましたが、結構、鉄道ファンには人気のスポットのようなんですね。そういった、鉄道という地の利も生かしていきたいなというふうに思っております。ありがとうございました。

続きまして、2班の皆様、お願いいたします。

◎区政モニター（2班）

それでは、2班の発表をいたします。2班のメンバーは最近北区に越してきた2名と、あと長くお住まいの何でも知っているお二方の4名で話をすることができて、すごくいいチームワークで検討することができたかと思えます。

内容に関しては、もう結構個別の内容が出てきましたので、特徴的なポイントをいくつかご説明します。

まず、「ヒト」の部分ですけども、「渋沢栄一さん」、「弦哲也さん」とか「水森かおりさん」が出ました。私が話していて感じたのは、「北区アンバサダー」ってあるんですよね。このアンバサダーがどなたなのか、実はあまりよく知らないなというふうに思っていて、今は3名いらっしゃるんでしょうか。「弦哲也さん」と「水森かおりさん」と、「倍賞千恵子さん」ですかね。この名前が出てこなかったです。やはりアンバサダーってすごくいいものがあるので、もっとその辺を押し出していくといいのかなと、話していて少し感じました。あと、「花川区長さん」とか、「交番の警察の方」や「神主さん」とかちょっと抽象的なものと、「鍛金師・彫金師」みたいな金の加工をする方で有名な方がいらっしゃるみたいで、そういうのは、結構若者の写真映えとかを含めて、いいコンテンツなのかなと感じました。ちょっとだけ「ヒト」

から飛躍するんですけど、北区には面白い会社があるんですよ。「カクヤス」というお酒を宅配してくれる会社の本社があったり、あと、おつまみの「なとり」という会社の本社があったりとか、人の集まりという意味で会社ですけど、そういうところの活動もうまく伝えていけるといいのかなというふうに思いました。

次は、「モノ」のところで、一番出たのはやっぱり「お菓子」です。「どら焼き」とか、「和菓子」とか、「都電もなか」とかで、食べ物はいいですよねという感じで出ました。食べ物に関しては、「たまご焼き」とか「トキハソース」とかお菓子以外にも出たり、あと「酒屋さん」も出たりしました。食べ物以外はすごく少なくて、「亀の子たわし」が出たくらいです。あと、「都電」ですかね。引っ越してきた組で「何があるかよく知らない」と付箋に書きちゃった方もいて、これは結構象徴的なところで、来た人がなかなか知るまでに時間がかかるよねというのはもったいないのかなと感じました。すごくいい付箋だなと思います。

次に、「トコロ」のほうに行って、よく出た「神社」の部分と、あと、「〇〇銀座商店街がすごいあるよね、いいよね」というところ、面白いところとしては、「展望台」、「トレインビュースポット」、「電車がきれいに見える場所」、「新幹線がきれいに見える神社」とかがあったりして、そういうのは子どもにもうけたりすると思います。一番出たのは「公園」で、「名主の滝公園」とか「旧古河庭園」などです。あとは、「製紙発祥の地」というところで紙関連のこととか、家の近くにある「氷屋さん」があって大きい氷を作っていますみたいなローカルな話題も出て、すごく面白かったです。これも面白いと思うんですが、「王子」。今王子に住んでいるんですけど、実は池袋まですごく近いんです。バスだとすごく近いんですけど、電車に乗っているとあまりそう感じることはないですよ。そういう土地勘のようなことを教えてあげると地方から出てきた人とかがすごく住みやすいのかなというふうに思いました。

最後に、「コト」です。こちらもすごく出て、「お祭り」とか、「バーベキュー場」とか、「飲み屋街」とか、「昼飲みできるね」とかが出たんですが、この中で一番いいなと思ったのは、「なとり」です。先ほども、「なとり」というワードが出てきていましたよね。あまりご存じでないかもしれませんが、その「なとり」で、月に一回、「なとり」の商品の売出しみたいなイベントをやっているんですね。そういうのを、やはり知っている方がいました。大体の人は知らなくても、聞いてみたら「すごく興味があります」、「面白そうですね」という、そうした企業の面白い活動をしっかり見ていくというのも、区としては面白い取り組みになるんじゃないかなと感じました。

2班の発表は以上です。ありがとうございました。

◎シティプロモーション推進担当主査

どうもありがとうございました。企業という着目は、すごく面白いと思います。北区内には、「なとりさん」、「カクヤスさん」以外にも、例えば「トンボ鉛筆」などの有名な企業があったりします。小さなお店等の協力等はまた別に、影響力もありますので、大きな企業とも何かやっていくと面白いなというふうに思いました。

それから、アンバサダーに関しては、「倍賞千恵子さん」、「水森かおりさん」、「弦哲也さん」の3人がいらっしゃいます。かつては、「ドナルド・キーン先生」や

「内田康夫先生」もいらっしやいましたが、とにかく減ってきてしまっている現状です。本当は、今年、水森かおりさんが25周年の記念すべき節目だということで盛り上げていきたくったところでしたが、新型コロナウイルス感染症の影響でしぼんでしまったというのは本当に残念だなと思っております。それ以外にも、何かやっていきたいと思っておりますので、ぜひそういったところに注目していただければと思います。

では、続いて、1班の皆様、お願いいたします。

◎区政モニター（1班）

1班の発表をさせていただきます。よろしく申し上げます。

いろいろとお話を聞いていて、皆さん北区を愛されているんだなというのがすごく伝わってきました。うちの班は、私は10回位引っ越しをしてようやく北区に引っ越してきたところで、あとは、ずっと生まれてこの方北区ですという方とかいろいろでしたが、みんなすごく悩んで、ばんばん出てくるという感じではなかったというのが正直なところなんです。なので、ここに出ているもの裏で、いろいろ皆さんが話したことのほうが多分重要かなと思っているんですが、取りあえず今出ているものからご紹介したいと思います。

「ヒト」でいうと、「出身のタレントさん」、「工芸作家さん」、「浅見光彦の作家さん」ですとか、「蔵元の方」、「85歳の区長」もいるというところが出てきました。

「トコロ」でいうと「公園」、「音無親水公園」、「墨田川テラス」、「ナショナルトレーニングセンター」、「荒川岩淵水門」、「商店街」等々が出ました。あとは、「都電のある景色」ですね。

「モノ」で上がっていますのが、先ほども出ましたが、「都電」がある、「新幹線」が走っている。それから、「駅」という場所。「トコロ」にも関わりますが、「都心へのアクセスがいい」というところが、よいところではないかということが出ています。

一方で「コト」についてですが、「北区花火会」、「お祭り」、「物価の安さ」というあたりが出ているのですが、その中で面白いなと思ったのが、「ごみの分別が2種類で楽」ということです。そういう発想はなかったなというのも出てきました。

一番最後に残しましたが、出てきたのが「住んでいて大きな不満がない」、「中の中」ということです。うちの班は、割とここに決してしまうのかなというところがあって、「何か人にお勧めするほどじゃないかな」、「何か北区ですみません」といった遠慮がちな人が集まってきたのかもしれない。ここで皆さんが出されたこともいろいろあって、すごくいろいろなものがあるんだなと思ったんですけど、人それぞれ受け止め方も違うだろうし、メインターゲットが子育て世代等々ということで資料にも書かれていますが、それを考えると、逆に「荒川」と言った時にちょっとハザードマップを心配される方もいらっしやるかもしれないし、「85歳の区長がいらっしやるんです」と言ったら、もちろん有能な方だから長くやっていらっしやるというのは分かるんですけど、若い世代からすると「ちょっと…」みたいなこともあるかもしれません。やはり、シンボル、前に押し出すものとして何を押し出すかというのが、す

ごくみんなの中で悩みました。雑談で出た中では、「公園、緑はあるんだけど、子育て世代がのびのび遊べる公園がないよね」とか、「まちを歩いていても、ベビーカーを安心して押せる道って本当に限られていると思います」というところもあったりして、胸を張って「これがお勧めです」、「これを推したいです」というものは、なかなか出づらかったなというのが、この班の印象でした。

そんなところですよ。なので、すごくいい意味で住みやすいと思うんですね。すごく見栄を張って住むまちでもないし、かといって何か足りないわけでもない、そういう意味ではいいまちだと思います。ただちょっと、プロモーションという意味で何を押すかということについて、なかなかはっきりしたものが出せなかったということが、今回の報告になります。以上です。

◎シティプロモーション推進担当主査

どうもありがとうございました。とても的を射た意見だなと思いました。2班でも、特に何もなかったとか、そういった意見が上がったと思いますが、まさにシティプロモーションとか、そういったものの出発点はそういったところなんですよ。北区が力を入れ始めたのが平成8年で、イメージ戦略という形でシンボルマークを作ったり、いろいろやり始めたのが始まりですけども、まさに出発点は、「北区ってイメージないよね」、「北区って言えば何？」というのが、即答できるものがない。皆さんに聞けば小さな点はいろいろあるんですけども、では、北区総体として何があるかということ、おっしゃられたとおり「胸を張って言えるものがない」という課題が出発点でございます。だからこそ、皆様にこういったところを挙げていただいて、それをどうやって見せていくかというのが我々の仕事というふうに思っております。本当に本質を突きたい意見だと思いました。どうもありがとうございます。

それでは、各班、グループの発表が終わりましたので、続きまして、ただいまの発表を受けましてシティプロモーション担当課長から一言感想等を述べさせていただきます。よろしくお願いいたします。

◎シティプロモーション推進担当課長

ありがとうございました。各班の発表を拝聴しまして、非常に面白い視点のところ、それから気付かされるところがありました。個々のコメントをしようと思ったんですけども、先ほど主査がしたので、もう私がしゃべることはないのかなと思いつつも、いくつかお話をさせていただきたいと思います。

最初に、「北区の人といえば」というところで、各班から「区長」と言っていて、区長に代わってお礼申し上げます。本当にありがとうございます。月曜日の朝に、区長に、区民の皆様がそのように言っていたと伝えると、多分もう一回やりたいたいと言い始めるかもしれないんですけども、それも含めてお伝えさせていただきたいと思います。

まずは、都電も含めた鉄道の話ですけど、実は、北区は、JRの駅が23区で一番多く、11あるんですよ。それで、歩いてすぐに行ける。それから、そのほかに地下鉄があって、電車と言うかどうか別ですけども都電があって、そういう意味では、ものすごく住むには便利なおところというのが、北区では売りにしているところですよ。それが、先ほどから言っているシティプロモーションの中で、子育て世代や若い方に

もぜひ来ていただこうと、住みやすいというところを売りにしていたというところですね。

シティプロモーションの話を少しします。「シティプロモーション」とは何かというと、すごく正確な定義ができない話ですけども、私は、自治体なり住んでいるところの価値を高めることなのかなと思っております。価値というのはそれぞれ皆さんによって異なるとは思いますが、それを端的に言うと、「住んでいてよかった」、「愛着がある」、もっと言うと「誇りに思う」と言うことで、なかなかそこまで行けるかどうかというのはあるのですが、そのような自治体づくりをすることが自治体にとってのシティプロモーションだと思っています。

先ほどから出ているような子育て世代に住んでいただきたいとなると、今度は、それを極めていくと人口の取り合いになっちゃうんですね。シティプロモーションはちょっと前から始まっていることですが、東京の一極集中を助長するといった時代ではなくなってきたと思います。そういう意味では、やはり住んでいる皆様に愛着と誇りを持っていただくこと、「北区に住んでよかった」、「ほどほどでもいいんだよね」という、そういうのがいいのかなと思います。港区に住んでいることが誇りだという年代の方もいらっしゃるけれど、「北区でいいよ」という方もやはりいらっしゃると思うんですね。そうした愛着を持っていただけるようにいろいろと取り組んでいきたいなということで、今日、皆さんから魅力を教えていただいたところです。

私は、昨年までは広報課長をやっていましたが、さらにその前は教育委員会で地域に出ていました。その時もいろいろお話を聞いたのですが、意外と自分の住んでいるところと、そうでないところをご存じないという方が多かったですよね。例えば、赤羽にお住まいの方は意外と田端のことを知らなかったり、逆に、十条の方が浮間のことをご存じなかったり、そういうところは非常に多いので、意外とこういう機会というのは、区も、おいでいただいた皆さんも、「ああ、そうなんだ」という発見につながっていただいて、それが「お、北区いいね」と思っていただけ一つのつながりを生むのかなと思っております。

北区出身の有名人は、最近よくテレビで見る「みちよぱさん」、アイドルの「中丸雄一さん」、俳優の「江口洋介さん」など、芸能人が結構いるんですね。そういったところを活用してというお話もありましたので、その辺も踏まえながら、どんなことができるかいろいろと考えていきたいなと思っております。

一昨年、20何年ぶりに北区の人口が35万人を超えました。一方で、実は、高齢化率が下がっています。23区で1位ではなくなったんです。若返っているんですね。それって結構すごいことで、じわじわとですが、そういったところもありつつ、少しずつ活気づいてくるのかなと思っています。若返りをしながらも、先ほどから話に出ています91歳まで生きた渋沢栄一ですが、どこかの班から「令和の渋沢栄一を」というお話をいただきました。個人的には、結構その取り組みは面白いなと思いました。渋沢栄一の取り組みは、経済だけではないんですね。先ほど都電で出てきた、西ヶ原に「二本榎」という榎が残っているんです。「一里塚」が残っていますが、それも渋沢栄一が「文化的に大事だから残そう」と言って残ったということ、渋沢栄一は教育福祉関係も手掛けていたというところを、これから、北区から広めて

いきたいと思っているところです。

すみません。取り留めのない話になりましたが、皆さんが今日の発表の中で「意外と似ているよね」というふうにおっしゃっていました。確かに、似ているところが多いか少ないかは別として、意見が被るということは、逆にそこは北区の本当の強みなんだろうなと感じたところです。シティプロモーションには何か正解というものはないのですが、今日こういう中で皆さんにこのようなお話をできて、私たちも皆さんのお話を伺って、皆さんもいろんな意見を聞いてそういうところもあるんだという認識を持っていただければ、少しシティプロモーションが前進しているのかなと思っています。今日は、ありがとうございました。

◎広報課長

ありがとうございました。

皆様、これまでの内容について、ご質問があればご発言いただきたいと思います、いかがでしょうか。

◎区政モニター

すみません、お話ありがとうございます。ちょっと2点お話を伺いたいんですけども、先ほどシティプロモーション推進担当課長さんのお話の中で、区外から移住者を求めることはしないで区民の満足度を上げたいという意図でおっしゃっているのか、こちらのプロモーションの方針を見ると外からの見たいをよくしたいと言っているのか、何か言っていることがどっちなのかなというのが、まず1点お伺いしたいです。

◎シティプロモーション推進担当課長

すみません。私の言葉の言い方が良くなかったんですけども、シティプロモーションの方針としては、当然に区外からの若者、それからファミリー世代を誘致ということが至上命題だと思っています。といいながら、国全体の流れとして東京一極集中を招くことになり過ぎるといのはどうなのかということで、そこも踏まえながら、どっちを強くする、弱くするという話ではなく、バランスの問題なのかなと思っています。

◎区政モニター

バランス的には、どっちをということなのか、あるいはどっちをということではないのでしょうか。

◎シティプロモーション推進担当課長

あまり、「来てください、来てください」とやるだけではないのかなと。それだけだと、なかなかシティプロモーションってうまくいかないと思うんですよね。やはり地方も栄えて、当然東京もですけど、どちらも栄えていくことが大事で、地方の過疎化が進み過ぎるといのは、やはりそうではないんじゃないかという視野も持ちながら、シティプロモーションに取り組んでいくことが肝要なのではないかと考えております。

◎シティプロモーション推進担当主査

私からも補足です。やはり人口などの目に見える数字は分かりやすいのですが、私のプレゼンの資料の中に「ファンを獲得する」と書いたんですけども、「北区が好きだ」、「別に住まなくても、住んでいても北区が大好きだ」と言ってくれる人は無

限に作れるだろうということで、力を入れていきたいなと思っております。人によってシティプロモーションの定義も変わってくると思いますが、私はそこに力を入れて仕事をやっているところです。

◎区政モニター

ありがとうございます。続けて、もう一個だけ。ごめんなさい。

プレゼン資料の7ページ目に、両輪ということで、「本質的な分野（役所がやって当然）」と「シティプロモーションが担っていく分野」という二つを並べて書いていただいたと思います。シティプロモーション自体はすごくいいと思うのですが、シティプロモーション推進担当の方から、本質的な分野に対して何か意見することができるのでしょうか。定住者を増やすといっても、結果的にまちの道路が汚いままだったりとか、小さい公園は夜には閉まってしまうとか、駅前がバスだけで広場とかないか、中途半端なまちが結構放置されていると思うんです。やはり住んでいる人としては、イメージ戦略だけされて結果外見はよくても、内側は汚いまちだったりとか、酔っ払いが寝っ転がっていたりとか、そういう状態だとやっぱり愛着はなかなか持てないと思うんです。もちろん、張りぼて部分を一生懸命輝かせるというお仕事はすごく素晴らしいと思いますが、やはり両輪と言いつつも、今はこの本質的な分野で書かれているところで欠けている部分が多々あると思います。できれば、このシティプロモーション推進の中で、内側の部分、根本的な部分といった本質的な分野に対してもバランスも取るようにしてほしいと思います。シティプロモーション推進担当は、割と区民目線の部署だと思うので、ぜひ本来の区役所の業務である本質的な部分に対しても意見を出して行ってほしいなと期待しています。

◎シティプロモーション推進担当課長

ありがとうございます。本質的な部分、何が本質かということが実はありますが、子育てでは、保育園は民間が経営をやっているなど、そういうところもあります。それはそれとして、結論から言うと、シティプロモーションから所管部署には、苦情というか、そういうところの話はちゃんと伝えています。管理するだけだったらそのレベルかもしれないんですけど、利用者の目線に立って一步上の水準を目指す意味での提言、「やれ」とはなかなか言えないですけど、「そういうのをやってほしい」、「やってくれないか」というようなことは当然のようにっております。所管部署はどの事業に対しても区民目線でやってはいるんですけど、やはり、なかなか全部に行き渡らないところもあるので、そこは当然、シティプロモーション推進担当課から全庁に対してそういう話をしていくように心がけておりますし、これからもやっていくところです。

◎区政モニター

ありがとうございます。

◎シティプロモーション推進担当主査

よろしいですか。同じく補足させていただきます。組織横断的にやっていくという主眼で、今年、シティプロモーション推進担当課ができました。「やっぱり本質をよくしないと、そもそも魅力って生まれないでしょう」ということを、いろんな部署に対して言うということもっております。だから、「またシティプロモーションがう

るさいことを言ってきた」と、他の部署から嫌われるんですよね。それって、議論が遅まきながらも動き出したということで、区役所全体として魅力あるまち、やって当然のところをさらに魅力的にすること、私たちのセクションがやっていかななくてはならないなと考えています。当然、質も補いつつ、それをさらに魅力的にしていくというところを、区全体としてやっていきます。例えば、渋沢栄一に関して、ただ「渋沢栄一さんはすごいんだよ」というだけではなくて、「教育の中に取り込んでいこう」ということで、教育委員会も動き出してくれました。今、副読本を作るプロジェクトも動いていて、渋沢栄一という人物からどう学び得るのかといったところも動き出しております。やはり、両輪なんですね。片方だけが進んでも意味のないことなので、一緒に進んでいくということが、私たちのやるべきこと、目指すところです。今年できた部署ですけれども、そういった形でどんどん進めていきたいと思っております。

◎区政モニター

ありがとうございます。応援しています。頑張ってください。

◎広報課長

そのほか、ご質問はよろしいでしょうか。

それでは、質疑はこれで終わらせていただきたいと思います。ありがとうございます。した。

本日、グループワークをしていただいたテーマ以外でご意見、ご質問等がございましたら、会議終了後に職員までお声掛けください。

最後に、皆様に連絡事項がございます。

(事務連絡)

5 . 閉 会

◎広報課長

それでは、ただいまをもちまして「令和2年度第2回区政モニター会議」を終了させていただきます。

皆様、本日も長時間にわたりありがとうございます。次回のモニター会議も、どうぞよろしくお願いいたします。

令和2年度第2回区政モニター会議議事録
令和2年11月発行

刊行物登録番号 2 - 1 - 092

発行

東京都北区政策経営部広報課

東京都北区王子本町一丁目15番22号